

「幼児をもつ保護者のみなさんへ」

宮城県教育委員会

幼児期は、遊びを中心とした楽しい集団生活の中で、人とのかかわりを通して社会生活上のルールや道徳性、コミュニケーション能力を培い、将来にわたって心豊かに生きる人間に成長するためにたいへん重要な時期です。

I 基本的な生活態度、習慣について

幼児は正しいしつけがされてこそ豊かに育ちます。

- 1 よい行いは褒め、認め励ますことで、行動に自信をもたせましょう。
- 2 いじめなど、やってはいけないことや間違った行いはしっかりと叱り、何が悪かったのかきちんと教えましょう。
- 3 できることから家の手伝いを続けてさせましょう。
- 4 「おはよう」「ありがとう」など、あいさつや返事を元気よくさせましょう。
- 5 自分の身の回りのことはできるだけ自分でさせ、ものを買って与え過ぎるなどの過保護をやめ、我慢できる子供にするよう心掛けましょう。
- 6 人の話をきちんと聞く態度、他を思いやる心を育みましょう。

II お子さんとのふれあいについて

幼児が家庭で身に付けたことは生涯にわたって生き続けます。

- 1 子供の「気持ち」や「思い」を受け止められる温かい家庭をつくりましょう。
- 2 親や家族一人一人の役割を大切に、協力して子供を育てましょう。
- 3 家族一緒に食事を大切に、テレビを消して幼児の話聞く時間を設けるなど、家族の絆を深めましょう。
- 4 「はやね はやおき あさごはん」など、健康な生活リズムで幼児の心と体を元気にしましょう。

III 友達との関係について

幼児は遊びを通して多くのことを学んでいます。

- 1 人や周りの環境と直接かかわる体験をさせましょう。
- 2 友達と一緒に遊ぶ時間をたっぷり与え、のびのびと遊ばせましょう。
- 3 遊びの中で助け合ったり競い合ったりする子供に育てましょう。
- 4 自然の中でのびのびと遊ばせ、その楽しさを十分味わわせましょう。